

1 事業概要

		課名	市立病院介護老人保健施設	事業No.	362
事務事業名		会計	介護老人保健施設事業特別会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			高齢者福祉計画・介護保険事業計画	
	法令・例規等			介護保険法	
				飯田市立病院介護老人保健施設条例	
事業目的	対象	入所、短期入所及び通所等の利用者			
	意図	介護を必要とする高齢者に安全安心なケアを提供します			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
		在宅療養支援に力を入れた介護サービスの提供に取組み、「在宅強化型」の施設区分を年間を通じて維持する事ができました。また今年度の実績積上げにより、年度末までに飯伊地区初の「超強化型」施設区分移行への準備が整いました。老健本来の目的である在宅復帰のための支援を充実させる事により、前年度に比べ利用率は下がりましたが介護サービス収入の増加につなげることができました。通所リハビリテーションでは介護予防にも取組み、要支援者の積極的な受入れを行いました。地域貢献活動としての「認知症カフェ」は毎月1回の開催ができ、地域の方々を対象とした「認知症サポーター養成講座」も、4回開催する事ができました。	人件費			461,971					
		介護老人保健施設管理費			163,284						
		施設事業費			70,360						
		その他の経費			0						
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	施設入所利用率 (入所利用者数/入所定員)	%	95	92.6	95	90.2	95	89.4			
	通所1日あたり利用者数	人	27	24.5	27	27.1	27	25.7			
	認知症カフェの開催	回	6	6	12	12	12	12			
1年度決算(千円)	予算額	711,874	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	695,615	(そ) 繰入金 151,463千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 15,523千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	166,986								
一般財源	528,629										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	13	1	1	1	1	1	466,103	461,971	人件費
2	13	1	1	1	10	1	168,799	163,284	介護老人保健施設管理費
3	13	1	1	2	10	1	76,972	70,360	施設事業費
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		「在宅強化型」の維持と「超強化型」へ移行するための実績を積み上げる事ができました。これは、利用者が住み慣れた地域、自宅で暮らしていくための支援の充実とともに、介護サービス収入を増加することにつながりました。しかし、在宅復帰の推進、特養入居や体調悪化による緊急入院等による退所で空床となるベッドの稼働調整に苦慮しています。超強化型への移行とその維持を目標とし、さらに入所、通所サービスの利用率を上げていくことが、今後の課題です。							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用希望者と受入側とのミスマッチを極力減らしていくために、施設内多職種や市立病院との連携、他事業者との直接面談の機会を増やすなど、更なる連携強化を図る必要があります。</li> <li>地域や他事業所、行政等に働きかけ、施設利用についての広報など、情報発信を積極的に行う必要があります。</li> </ul>							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域貢献活動などの情報提供やケアの相談など、地域に開かれた施設を目指し上記有効策を実施します。</li> <li>地域連携パス(飯田下伊那)への協力施設でもあり、在宅復帰支援施設としての使命を更に強化していきます。</li> <li>会計年度任用職員の採用など人的資源の有効活用を視野に入れた人事配置を検討し、人件費の抑制を図ります。</li> </ul>							